

丸上建設株式会社

地球温暖化対策への取組

丸上建設株式会社
総務部 村上 璃帆



会社概要・沿革



会社名	丸上建設株式会社
所在地	岩手県奥州市胆沢南都田字濁川39番地
代表者	代表取締役 渡邊 昭
資本金	1,000万円
従業員数	14名
事業内容	一般建設業（土木）
	一般貨物自動車運送業
	産業廃棄物収集運搬業



1967年

創業

1988年

設立

2010年

エコスタッフセミナー受講①

2011年

おうしゅうエコ事業所二つ星登録

2014年

太陽光発電設備導入

2016年

エコスタッフセミナー受講②

おうしゅうエコ事業所三つ星登録

グリーン経営認証取得

いわて地球環境にやさしい事業所四つ星認定

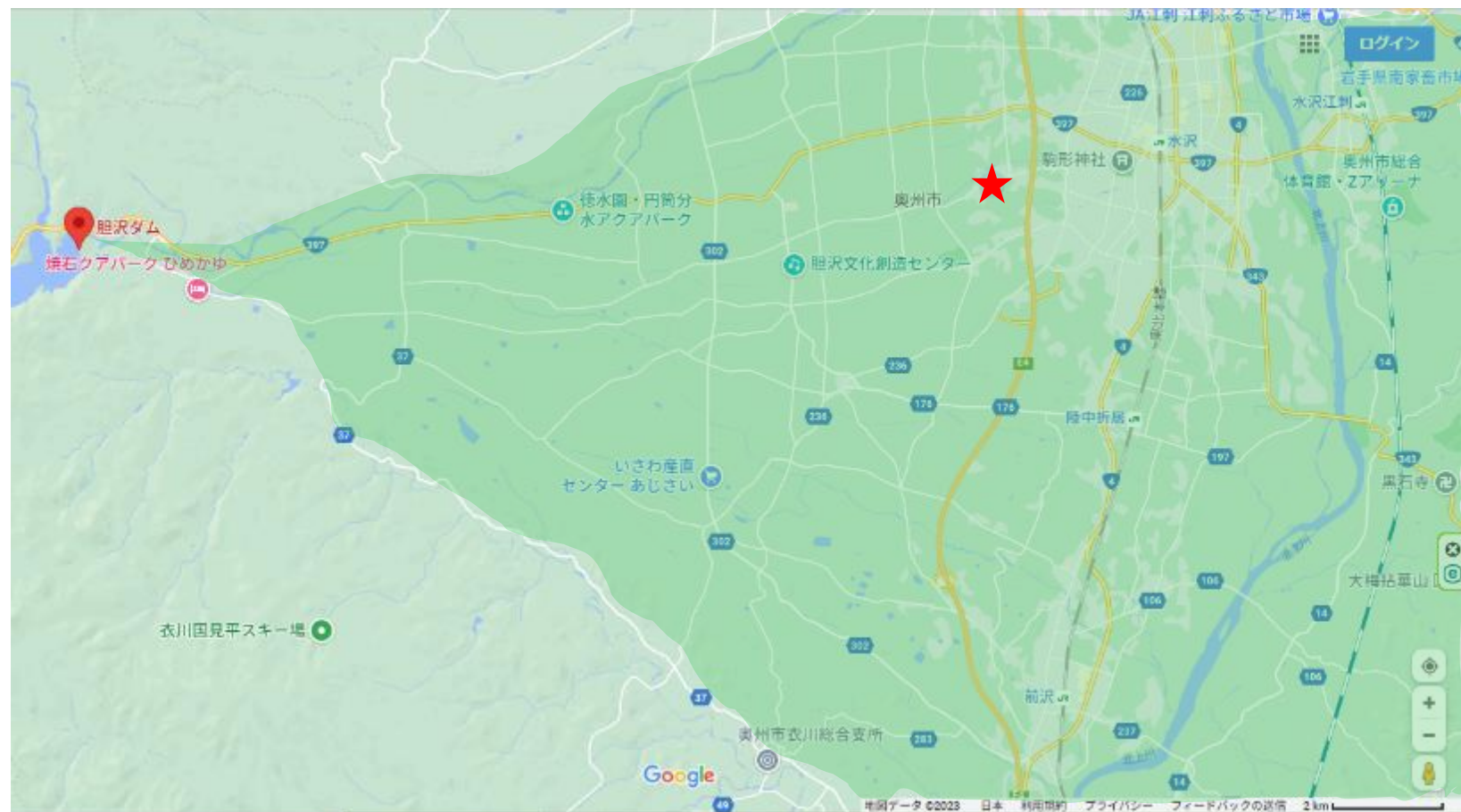
2023年

SDGs宣言



胆沢の自然の中に

胆沢川流域に広がる日本最大級の扇状地には豊かな自然が広がっています



GoogleMapより引用



環境方針

基本理念

当社は、環境問題への取組みが人類共通の課題であると認識し、企業の社会的、公共的使命を自覚し「よき企業市民」として地球環境保全に積極的に取組み、持続可能な地域社会の発展に貢献し、社会から一層信頼される企業を目指します。

基本方針



環境関連法規制、条例、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努める



排出ガスによる地球温暖化、大気汚染を防止するために、エコドライブの実践、最新規制適合ディーゼル車や低公害車の導入を推進する



環境教育、啓発活動を通じて全従業員に本方針を周知するとともに社員の環境保全意識の向上を図り、地域の環境保護活動に積極的に貢献する



廃棄物の削減、適正処理、リサイクルを推進する



環境目標を定め、定期的に見直すことにより、環境保全活動の継続的な改善に努める

2023年4月1日

丸上建設株式会社本社営業所

環境保全管理責任者

代表取締役 渡邊 昭

環境行動計画

丸上建設株式会社本社営業所

令和5年度 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

- (1) 環境保全のための仕組み・体制の整備
従業員に対し、環境方針を周知し、環境保全教育を定期的に行う。
- (2) エコドライブの実施
把握した燃料使用量をもとに、前年度比1%燃費が改善できるよう、エコドライブ項目に取り組む。
- (3) 低公害車の導入
大気汚染防止という観点から低公害車に準ずる最新の排出ガス規制適合ディーゼル車の導入に努め、かつ可能であれば低公害車の導入を考慮する。
- (4) 自動車の点検・整備
各点検基準に基づき、車両の点検・整備・清掃を行い、車両管理を徹底する。
- (5) 廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進
従業員への廃棄物に関する教育を実施する。
- (6) 事務所における環境保全の推進
エコマーク製品の購入、廃棄物の分別、不要照明の消灯などを徹底する。

2. 目標

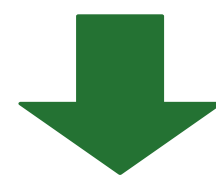
- (1) 環境教育の推進
- (2) 燃費向上：アイドリングストップ・タイヤの空気圧を適正にする。
車両の整理整頓を心がけ、不要な荷物を積まない。
- (3) 事務所での環境保全の推進：電気使用量を前年度比1%削減する。
廃棄物排出量を前年度比1%削減する。

3. 目標達成に向けた具体的な取組み内容

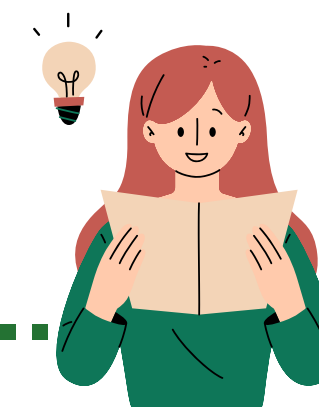
- (1) 「環境教育の推進」に向けた具体的な取組み
朝礼や掲示、研修会などを通じて、環境に関する一般的情報（環境の現状、問題、将来的な危惧など）や毎月の燃費実績等について、継続的に情報提供を行い、従業員の環境保全意識の向上を図る。
- (2) 「燃費向上：アイドリングストップ・タイヤの空気圧を適正にする」に向けた具体的な取組み
 - ・待機時のアイドリングストップを徹底する。
 - ・1ヶ月に1回タイヤの空気圧をチェックする。
 - ・車内を整理整頓し、不要な荷物は積まないようにする。
- (3) 「事務所での環境保全の推進」に向けた具体的な取組み
 - ・ディスプレイの省電力の為、スリープモードの使用を意識する。
 - ・クールビズ、ウォームビズを取り入れ、過度な冷暖房を避ける。
 - ・ゴミの分別を徹底し、積極的にリサイクルに努める。
 - ・定期的にゴミの量を計測・記録し、排出量を抑制する。
- (4) 上記(1)～(3)の取組みについて、全従業員間で情報を共有し、目標達成に向けた対策等について意見交換をする場として、年1回対策会議を開催する。

令和5年4月1日
丸上建設株式会社本社営業所
環境保全管理責任者
代表取締役 渡邊 昭

取組をはじめたきっかけ



建設業・運送業として環境への配慮を示したい！



事務所内での取組

不要な照明の間引き



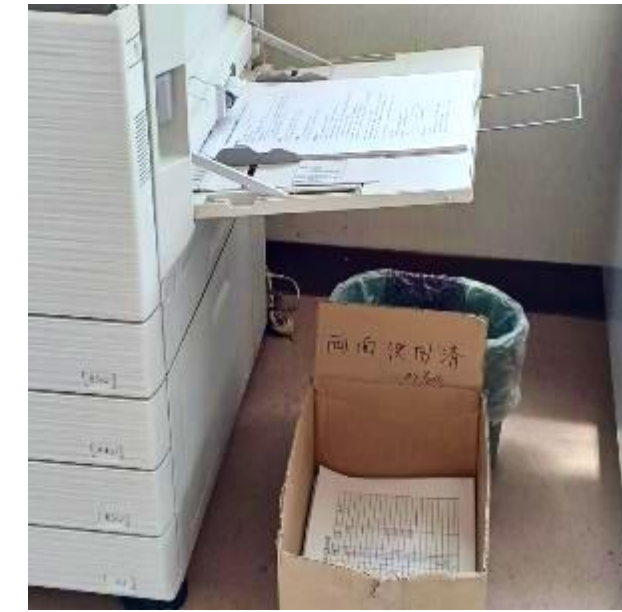
便座の暖房をオフ



エコスタイル



裏紙・封筒の再利用



事務所敷地内緑化



太陽光発電設備



燃えるゴミ集計



エコマーク商品の購入



できることから習慣に



リサイクル（ゴミの分別）

- ゴミの分別の重要性と方法について教育（社内研修実施）
- 分別しやすいようにゴミ箱にゴミの種類を表示

エコドライブ教育

- 重点項目や点検方法について研修会を毎年実施
- ポスターの掲示やエコドライブについての資料配布

車両・重機管理

車計簿

- 車両毎の走行距離、給油量の積荷の重量や修理費を集計
- 車計簿の数値を基に燃費や車両管理も

車両・重機管理表

- 各車両、重機の修理内容や点検日を一覧で記録
- 定期交換部品や点検時期の把握

車両・重機の入替

- 計画的にD P F 搭載、尿素S C Rシステム採用の車両へ
- 年式が古い重機を排出ガス基準値内の重機に
- 社員数に応じた社有車数に

令和4年6月 月別累計表 油単価:103.0

車番	走行距離km	実車距離km	輸送t	稼働日	燃料ℓ	燃費ℓ/t	修理費等	燃料費	費用合計
692	2,493	1,168	765.0	8	900.00	1.176	0	91,350	171,350
621	6,134	2,799	1,251.0	23	1,795.11	1.434	9,499	182,204	421,703
288	2,471	1,032	774.0	8	846.00	1.092	3,636	85,869	169,505
3890	2,352	1,120	720.0	8	854.00	1.187	3,000	86,681	169,681
8546	144	74	17.0	3	66.76	3.927	0	6,776	36,776
904	340	188	99.2	5	115.92	1.168	0	11,766	61,766
10・29	0	0	0.0	0	0.00	-	662,221	0	662,221
計	13,934	6,381	3,626.20	55	4,577.79	1.262	678,356	464,646	1,693,002

車両管理表

登録番号	体形	車名	初度登録
岩手100か692	ダンプ	三菱	平成11年3月

月日	工場名	エンジン オイル	エレメント	エアフィルタ 清掃 交換	トランス ミッション	デフレン シヤル	備考	距離メータ
H26 5月23日	岩手工場	点検	点検	○	点検	点検	車検	—
" 6月3日	岩手工場						ウイカーリレー交換	—
" 6月11日	岩手工場						シート骨修理	—
" 6月18日	岩手工場						シート配線修理,ヒューズ交換15A	—
" 7月1日	岩手工場						右フロントパワーウィンドモータ交換等	—
" 7月10日	岩手工場						チェンジロッドジョイント交換	—
" 7月17日	岩手工場	○	○				エンジンオイル,エレメント(部品)	688,581km
" 7月25日	岩手工場						コンプレッサ等交換,廃タイヤ等	698,652km
" 8月28日	岩手工場						Fr左右タイヤ交換,廃タイヤ②	—
" 9月13日	岩手工場						タイヤ組替え,廃タイヤ	—



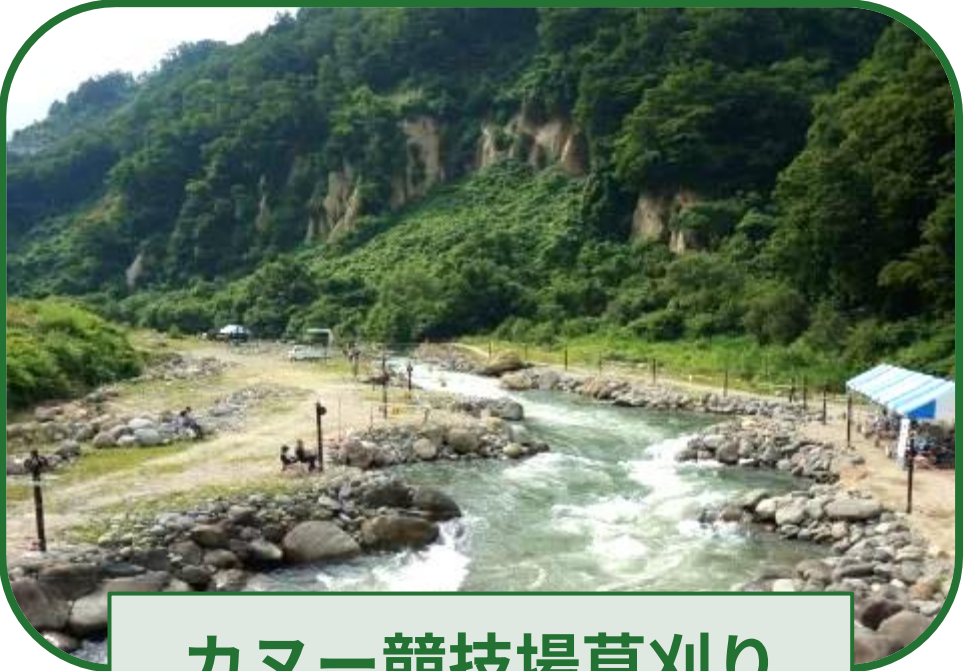
環境整備活動



北上川流域一斉清掃



植樹林の下草刈り



カヌー競技場草刈り



環境クリーンキャンペーン



通学路の除草作業

SDGs宣言 (R5.1)

マテリアリティ (重要課題)

環境の保全

環境に配慮した事業活動を行い、CO2削減に努めます

目標・取組内容

- 太陽光発電等再生可能エネルギーの活用を継続します
- エコドライブ推進、低公害車への代替えを計画的に進めます
- 廃棄物の4R運動とグリーン購入促進に積極的に取り組みます



きたぎんSDGs経営サポートによる「SDGs宣言」策定支援



グリーン経営認証（H28.7）

グリーン経営認証とは

グリーン経営推進マニュアルに基づき、一定のレベル以上の取組みを行っている事業者に対して、エコモ財団による審査の上、認証・登録される（トラック事業：2003年10月1日～）

弊社の取組

1. 環境保全のための仕組み・体制の整備
2. エコドライブの実施
3. 低公害車の導入
4. 自動車の点検・整備
5. 廃車の廃棄物の排出抑制、適正処理及びリサイクルの推進
6. 管理部門（事務所）における環境保全の推進



いわて地球環境にやさしい事業所認定(いわて脱炭素化経営企業等認定制度) (H28.10)

認定区分 (四つの区分)

★★★★ 三つ星に加えて、二酸化炭素排出量の削減の成果があること

エネルギー使用量の集計

- 灯油 (事務所内暖房)
- 軽油 (重機・車両)
- LPG (現場・給湯器)
- 電力 (事務所・車庫)
- ガソリン (社用車)

付表 1 基本情報 (エネルギー使用量等)

← 付表2-1で使用するデータ →

← 付表2-2で使用するデータ →

(1) エネルギー使用量							(2) 二酸化炭素排出係数					
項目	令和元年度 (4年前)	令和2年度 (3年前)	令和3年度 (前々年度)	令和4年度 (前年度)	令和5年度 (今年度) 計画	単位	R1	R2	R3	R4	R5	単位
一般炭						kg	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	kg-CO2/kg
揮発油						リットル	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	kg-CO2/l
灯油	1425	1305	455	450	440	リットル	2.49	2.49	2.49	2.49	2.49	kg-CO2/l
軽油	45000	45000	40000	40000	3800	リットル	2.58	2.58	2.58	2.58	2.58	kg-CO2/l
A重油						リットル	2.71	2.71	2.71	2.71	2.71	kg-CO2/l
B重油又はC重油						リットル	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	kg-CO2/l
LPG	8.0	9.0	10.0	8.0	7.0	kg	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	kg-CO2/kg
LN						kg	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70	kg-CO2/kg
都市ガス						m3	2.23	2.23	2.23	2.23	2.23	kg-CO2/m3
廃棄物						t						kg-CO2/t

例) 基本情報 (エネルギー使用量等) (付表 1)

いわて地球環境にやさしい事業所認定(いわて脱炭素化経営企業等認定制度) (H28.10)

弊社の取組

クールビズ

- 全従業員へポロシャツ配布
- 作業員へ空調服配布
- 緑のカーテン
- 小型扇風機配布



こまめな消灯

- 人感センサー照明を一部導入
- 事務所照明のLED化
- プラグを抜いて待機電力カット



車両の入替

- 低排出ガス認定車導入
- 低燃費車導入



エコドライブ教育

- 全車両の燃費を毎月集計、掲示
- ドライバーへのマニュアル配布
- 社内研修時の教育、資料配布
- エコドライブ関連ポスター掲示



省エネ診断 (R3.5)

省エネ診断の提案を受けて

- ⊕ 事務室エアコンの更新と暖房への活用
- ⊕ 温水洗浄便座の省エネ
- ⊕ 水道凍結防止ヒーターの電源遮断
- ⊕ 事務室空調温度の設定変更
- ⊕ 事務所内の冷蔵庫の更新

丸上建設株式会社 様

令和 3年度

省エネ最適化診断報告書

令和 3年 5月

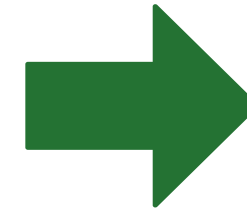
一般財団法人省エネルギーセンター

整理番号	B212009	診断日	令和 3年 5月 13日 (木) 曜日
診断先名	丸上建設株式会社 本社ビル		
用途	一般事務所		
診断先対応者	総務部長 坂井久仁子 様		
診断者	エネルギー使用合理化専門員 大石浩男		
連絡先	一般財団法人 省エネルギーセンター 河北支社 上田 浩 TEL:022-221-1751 FAX:022-221-1752		

FB21-01

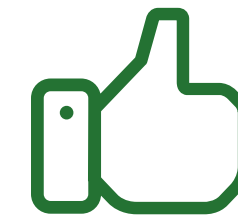
資源エネルギー庁「令和3年度中小企業等に対するエネルギー利用最適化推進事業委託補助金」による事業

エアコンの更新と効果 (R3.8)



(1)エネルギー使用量

項目	平成30年度 (4年前)	令和元年度 (3年前)	令和2年度 (前々年度)	令和3年度 (前年度)	令和4年度 (今年度) 計画	単位
一般炭						kg
揮発油						リットル
灯油	1047	1425	1305	455	450	リットル
軽油	21489	34613	55061	15204	15000	リットル
△ 香油						リットル



年間灯油使用料 1,305ℓ → 455ℓ

「できることからECOアクション！」取組参加（R5.6）

事業所における地球温暖化対策への具体的取組

👤 人材育成

- ・ エコスタッフ養成セミナーへの参加（従業員2名）

🔊 意識啓発

- ・ 取得認定・登録証掲示
- ・ 全車両の燃費・環境保全等ポスター冷暖房温度管理、エネルギー削減目標値の掲示

🚗 自動車対策

- ・ ハイブリット自動車の導入（社用車1台）

🔌 省エネ・再エネ設備導入

- ・ 人感センサーの照明一部設置、事務所照明のLED化、太陽光パネル設置、
- ・ 省エネタイプの冷蔵庫に変換、省エネ診断受診による省エネ対応エアコン導入
→ 電気使用量前年比+5%、灯油使用量-65%

🌲 森林吸収

- ・ 地元建設業団体の一員として胆沢ダム周辺のブナ森の下草刈り、桜の回廊の植樹



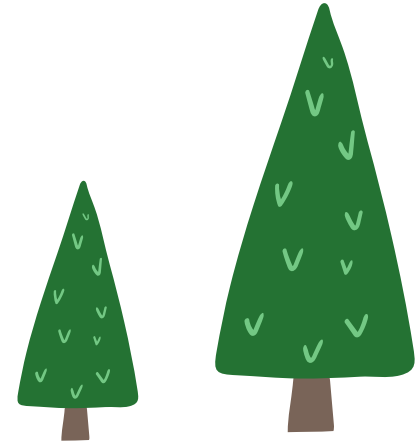
岩手県HPより引用



丸上建設HP



最後に



丸上建設株式会社は

『水と緑の豊かな暮らしをお手伝い』をスローガンに、
これからも省エネやCO2削減のための取組を継続し、

持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

